あいぽーと通信

平成29年（2017）6月発行
第41号

10th 10周年記念号

トピックス Topics
- 開館10周年記念　ごあいさつ
- あいぽーとフェスティバル2017
- あいぽーと徳島 実施事業のご案内
- イベント情報など

あいぽーと徳島では、さまざまなイベントを開催しています！

徳島県立人権教育啓発推進センター「あいぽーと徳島」開館10周年記念　ごあいさつ

徳島県知事　飯泉嘉門

県民一人ひとりの人権がお互いに尊重され、擁護される社会の実現を目指し、平成19年4月に開館した「徳島県立人権教育啓発推進センター（あいぽーと徳島）」は、このたび、開館10周年を迎えることができました。この間、「あいぽーと徳島」の活動に対し多大な御支援・御協力をいただいた皆様に、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

「あいぽーと徳島」では、本県における「人権教育・啓発の拠点」として、利用される皆様の自主性を尊重しながら、わかりやすく、親しみやすい事業を実施することを運営方針とし、人権について気軽に学習や研修、相談ができる場となるよう、努めて参りました。また、人権課題をテーマとした講座や研修会の開催、図書やDVD等の閲覧・貸出し、弁護士や人権擁護委員による人権相談、広報誌「あいぽーと通信」の発行に加え、企業・団体の研修会への講師派遣、県内各地における「出前講座」の実施など、積極的に事業を展開して参りました。

その結果、平成28年度末までの10年間に、累計で約24万人の方に、「あいぽーと徳島」をご利用いただいており、人権意識の向上に、大いに成果があったものと考えております。

一方、この10年の間に、情報化や国際化が急速に進展し、人々の価値観も多様化する中で、インターネット上の差別書き込みや、外国人に対する人権侵害などの社会問題がクローズアップされるとともに、性同一性障がいをはじめ、新たな人権課題についても、関心が高まっております。

このため、国においては、「障害者差別解消法」、「ヘイトスピーチ対策法」、「部落差別解消推進法」など、人権に関する新たな法律を制定し、人権問題の解決に取り組まれております。

本県におきましても、これまでの成果や新たな課題を踏まえ、国や市町村、関係団体、そして「あいぽーと徳島」の指定管理者である「特定非営利活動法人徳島ヒューマンネット」との連携をより深化させながら、人権教育・啓発に取り組んで参ります。

今後とも、「すべての人々の人権が尊重される社会づくり」に向けて、県民の皆様とともに、しっかりと取り組んで参りたいと考えておりますので、なお一層のお力添えを賜りますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

第1回県民講座　ネットと人権 ～電子空間に反映される現実世界の人権問題～

- 講　師 ／ 松村元樹さん（反差別人権研究所みえ事務局長）
- 日　程 ／ 8月10日［木］午後1時30分～午後3時30分
- 会　場 ／ 沖洲マリンターミナルビル 2階「マリンホール」
- 主催・問い合わせ／あいぽーと徳島　●受講料／無料

第2回県民講座　障がいのある人もない人も、共に暮らせるまちづくりを進めるために

- 講　師 ／ 玉木幸則さん（西宮市社会福祉協議会障害者総合相談支援センター にしのみやセンター長）
- 日　程 ／ 10月20日［金］午後1時30分～午後3時30分
- 会　場 ／ 沖洲マリンターミナルビル 2階「マリンホール」
- 主催・問い合わせ／あいぽーと徳島　●受講料／無料

人権教育啓発リーダー養成講座

「一人ひとりが夢ある未来のために さあ出発しよう」

●対象者：市町村の人権教育啓発担当者及び人権教育啓発に関する団体に所属する方　●会　場：沖洲マリンターミナルビル・マリンホールほか　●定　員：30名程度　●受講料：無料　●主催・問い合わせ／あいぽーと徳島

回	日　程	テ ー マ	講　師
1	8月17日［木］ 13:00～16:00	人権研修のすすめ方	北野真由美さん （えんぱわめんと堺/ES 代表理事）
2	9月 8日［金］ 13:30～15:30	子どもの貧困問題を考える 学校の夕刻を支える場の実践	金澤ますみさん （桃山学院大学准教授）
3	10月12日［木］ 12:30～15:30	いのちの居場所づくり 貧困を緩和するコミュニティデザイン（現地研修）	杜恵美子さん （NPO法人亀岡人権交流センター理事長）
4	11月 9日［木］ 13:30～15:30	手渡したいのは青い空 公害の経験から未来を考える	栗本知子さん （〈公財〉公害地域再生センター研究員）
5	12月14日［木］ 13:30～15:30	自死遺族として生きる	田中幸子さん （〈一社〉全国自死遺族連絡会代表）
6	1月19日［金］ 13:30～15:30	福島のこと、地方のこと	山下祐介さん （首都大学東京准教授）

関連情報

平成29年度「いのち輝くメッセージ」

～届けよう！「いのち」の大切さ、広めよう！生きることのすばらしさ～

「いのち輝くメッセージ」作品募集では、「いのち」の大切さや生きることのすばらしさをメッセージに託し、「いのち」の輝きを表現した作品を募集します。
「いのち」の尊さを見つめ直した出来事、かけがえのない「いのち」の大切さを感じた出来事、生きる勇気を与えてくれた一言、心が温かくなった言葉や体験、心を元気にしてくれた友達や家族、先生の言葉や体験などをメッセージに、または手紙やメッセージと絵（イラスト）や写真を組み合わせて表現してみませんか。

作品募集期間：平成29年7月3日［月］～9月4日［月］まで

募集作品・規格
- 作品は、「いのち」の大切さや生きることのすばらしさをメッセージに託し、あたたかい心や言葉や体験して感じたことなど、「いのち」の輝きを表現した作品を募集します。メッセージやメッセージと絵（イラスト）や写真を組み合わせたものとします。制作方法については特に定めません。ただし、平面作品に限ります。
- 手紙やメッセージの文字数は400字以内とします。
- 用紙の大きさはA4判（29.7cm×21cm）までとします。
- 用紙の材質や色は問いません。ただし、用紙は無地のものとします。

作品募集

応募先とお問い合わせ先
徳島県教育委員会人権教育課（県庁9階）
〒770-8570 徳島市万代町1丁目1番地
担当電話番号 Tel.088-621-3157

徳島県教育委員会では昨年度の募集事業「いのち輝く メッセージ」優秀作品、これまでの「ありがとう」を伝えたい「私からの手紙」」優秀作品をはじめ各種人権教育・啓発パネルの貸出も行っています。市町村で開催される人権フェスティバルや学校行事等での展示及び学習資料として御活用ください。パネルの貸出を希望される方は、徳島県教育委員会人権教育課までお申し込みください。

徳島県男女協調週間講演会　フレアキャンパス講座

これからの男女共同参画

～介護と仕事の両立から考える男女共同参画社会～

高齢化社会の現代において、誰もが経験する可能性がある「介護」。男性だって女性だって、いつ介護と仕事の両立に悩むことになるかもしれません。
講師に秋川リサさんをお招きし、実母の介護経験を通して考えた、これからの男女共同参画についてお話いただきます。

- 日 時 ／ 平成29年7月9日［日］ 午後1時30分～午後3時
- 講 師 ／ 女優／モデル 秋川リサさん
- 場 所 ／ ときわプラザ（アスティとくしま内）（徳島県立男女共同参画交流センター） 2階 ブライダルコアときわホール

駐車場が大変混雑する場合がございます。早めのご来場にご協力をお願いします。

- 定 員 ／ 142名 定員になり次第締め切ります。

受講無料

無料託児あります。【講座と一緒にお申込みください】対象：1歳から就学前までのお子様

1952年5月12日生まれ。15歳でテイジンのモデルとしてデビュー。17歳から4年間、資生堂のコマーシャルモデルとして活躍。その後「anan」の専属モデルとして活躍しその名を広く知られる。女優、タレントとしてドラマ、バラエティ番組、映画を中心に活躍する。また、自身の経験をまとめた著書「母の日記」を2014年に作成し、「見守る介護～自分を責めずに頑張りすぎない介護」を推奨している。

◆お申し込み・お問い合わせ◆　下記申込み先まで、電話・ファクシミリ・E-mailのいずれかでお申し込みください。
ときわプラザ（徳島県立男女共同参画交流センター）　《開館時間10:00～18:00》　休館日 火曜日
電話：088-655-3911 FAX：088-626-6189 E-mail：flairtokushima@mf.pikara.ne.jp

人権相談のご案内

あいぽーと徳島では、人権擁護委員・弁護士による人権相談を行っています。まずは電話にてご連絡ください。

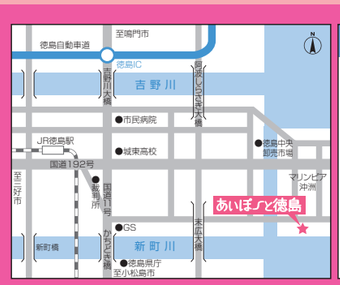
一人で悩まずお電話を

Tel.088-664-3701

- 人権擁護委員による相談　第2・第4土曜日（10:00～16:00）　面接相談及び電話相談
- 弁護士による相談（要予約）　第1・第3金曜日（13:00～16:00）　面接相談

［編集・発行］
あいぽーと徳島
徳島県立人権教育啓発推進センター
指定管理者 特定非営利活動法人 徳島ヒューマンネット

〒770-0873 徳島市東沖洲2丁目14 沖洲マリンターミナルビル内
Tel.088-664-3719 Fax.088-664-3727
あいぽーと徳島　検索　http://www.aiport.jp



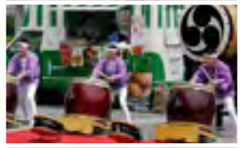
●開館時間／午前10時から午後6時まで　●休 館 日／月曜日（祝日の場合はその翌日）年末年始（12月29日から1月3日まで）

公共交通機関のご案内　JR徳島駅前から徳島市営バス【中央卸売市場】行きに乗車し、【沖洲マリンターミナル】にて下車。

あいぽーと徳島10周年記念

あいぽーとフェスティバル2017

平成29（2017）年4月29日、沖洲マリンターミナルビルにて、「あいぽーとフェスティバル'17」を開催し、三味線もちつき、キャラクターショー、和太鼓演奏、トーク&コンサートなどを実施しました。今回は、あいぽーと徳島オープン10周年の記念事業として例年に増してたくさんの参加者でにぎわいました。



最初は、三味線もちつきの実演がありました。三味線もちつきの「うだつ」は、江戸時代、旧脇町が阿波藍で栄えた頃、豪商たちが年の暮れに、唄と三味線やカネ、太鼓等の鳴り物にあわせて正月用のもちをつかせたのが始まりといわれています。景気の良いもちつき唄を、三味線、太鼓に合わせて唄いながらつき、そして、お客さんも参加しての楽しいもちつき実演となりました。

続いてキャラクターショーは、「保育士ヒーローブレイク」によって、「いじめをなくそう」「楽しく仲間づくりをしよう」と、子どもたちだけでなく大人までも考えさせられるストーリーと、子どもたちへの愛情あふれた心あたたまる交流があり、魅力あるショーとなりました。また、熱気あるアクションのステージや、グリーティングでの交流で、夢中になる子どもたちを中心に盛りあがりました。

和太鼓の演奏のNPO法人「太鼓の楽校」は、様々な場で和太鼓を見て、触れて、感じることができるような場をつくり、年齢、性別、障がいの有無を越えて、様々な人が太鼓を楽しめるようにと活動をしています。障がいのある人のチームを交えた演奏と、和太鼓を見て、触れて、打ってみるワークショップもあり、来場者の皆さんに太鼓の音が体と心に響きわたりました。

最後のトーク&コンサートでは、シンガーソングライターの佐々木裕滋さんが、自身の叔母にあたる「原爆の子の像」のモデルとなった「佐々木禎子」をモチーフとした楽曲を唄われました。「禎子の想いを語り継ぐ責任がある」という想いから活動をはじめ、全国各地のイベントに積極的に参加しており、あいぽーとフェスティバルでも、平和教育をテーマに気持ちを語りました。観客全員、想いのこもった唄を聞き、考えさせられ、心に残るコンサートとなりました。

あいぽーとフェスティバル2017に参加されたみなさまより、嬉しいお言葉を頂戴しております。

●佐々木祐滋様（イベント出演者）

今回のステージでは歌とともに、伯母である禎子がどのように病気と闘い、どのような気持ちを折り鶴に込めたかをお話しさせていただきました。徳島の皆さんは広島から近いということもあってか、とても熱心に聞いてくださったことが印象的です。私が音楽活動を始めたのは2000年頃からですが、当初からこのような平和活動を意識していたわけではなく、むしろ祖父母から闘病の様子を聞いていただけの禎子のことを、自分からは遠い存在だと思っていました。ミュージシャンとして活動していたある時、知り合った方から「あなたの体にも禎子さんのDNAが入っているのだから、あなたは禎子さんのことを歌にするべきだ」と言われたことが、今の私の活動に繋がっています。今は歌のほか、禎子が愛した折り鶴を国内外に寄贈する「折り鶴プロジェクト」にも力を入れており、太平洋戦争で犠牲となった350万人と同じ数の寄贈を目指しています。

●沖洲婦人会様（ボランティア参加者）

近くに住んでいながら、あいぽーと徳島がどのような活動をされているのか、正直知りませんでした。今回初めてスタッフの一員として参加し、地元にある貴重な県立施設として、これからも支えていきたいと話し合っています。

●徳島大学ハンドメイド部の皆様（ボランティア参加者）

プラバンでのバッジづくりのお手伝いさせていただきました。たくさんの子どもさんが体験をしてくれました。楽しそうな姿も見られ、嬉しい経験でした。子どもの頃からの人権学習は大切なことだと思います。機会があればまた参加したいです。

●施設指導員 Yさん

施設のお年寄りと一緒に参加しましたが、盛りだくさんのイベントで、本当に楽しい一日でした。貴重なひとときをいただき、感謝いたします。

●小学生 Aさん

保育士ヒーローショーが楽しかったし、ハンドメイドも自分だけのオリジナル作品をつくりました。夏休みにも友だちとあいぽーと徳島に来ます。

●Fさん

佐々木祐滋さんの原爆2世としてのお話、叔母（佐々木禎子）さんや平和な社会への思いなど、お話の一つひとつに共感するものがあり、楽曲 INORI では、私もお友だちも思わず涙しながら聴いていました。

非常に多くの方にご参加頂き、有意義な「あいぽーとフェイスティバル2017」を開催することができました。これも皆様方のご支援とご愛顧によるものと、心から感謝いたしております。

「あいぽーと徳島」実施事業のご案内

徳島県立人権教育啓発推進センター（あいぽーと徳島）は、平成19年4月の開館以来、様々な事業を通じて県民の皆さまに人権の大切さをお伝えするとともに、学び、理解を深めていただく拠点として活動しております。紙面をお借りして、厚く御礼を申し上げます。

本年4月、開館10周年を迎えたことを機会に、これまでの事業成果を踏まえるとともに、時機を得た、また新しい人権課題への対応等、その解決に向けて一層の教育・啓発活動を行うこととしております。

ここで、本年度から新しく実施する事業を中心に、その一部についてご案内いたします。

「次世代への人権教育啓発事業」（児童、生徒の参加型事業）

事業趣旨、内容

人権について学ぶことは、子どもから高齢者に至るまでの生涯学習であるとの認識に基づき、発達段階に応じた内容や場を提供することが重要です。また同時に、子どもと高齢者や障がい者等が同じ場で学ぶことも大切です。

この事業では、次世代を担う子ども達の人権意識の高揚を図るため、親子等で参加する事業、子どもと高齢者や障がい者等が交流を図りながら学べる事業を企画します。

① 子どもの障がい者施設訪問・交流学習

障がい者施設利用者と一緒に、
「昆虫教室」「鈴虫の家作り」等の体験学習
●時　期：7月25日（火）
●場　所：鳴門市　社会福祉法人大麻福祉の町　板東の丘

② 子どもの高齢者施設訪問・交流学習

高齢者施設利用者と一緒に、
「コンサート」等で交流学習
●時　期：8月8日（火）
●場　所：徳島市　社会福祉法人白寿会　白寿園

③ 子どものマスコミ機関訪問学習

マスコミ機関で、読解力・情報分析力等を
高めるための楽しい社会学習
●時　期：8月1日（火）
●場　所：徳島新聞社、四国放送

④ 親子等で農業体験

親子等で参加してもらうことにより家族のふれあう時間をつくると共に、土に触れ、農作物を収穫することにより食べ物、生き物の大切さを学ぶ機会づくりの提供
また、障がい者施設利用者にも参加いただき、同じ体験をすることで交流のきっかけづくりの支援
●時　期：9月3日（日）、雨天時は翌日曜日
●場　所：石井町

⑤ 夏休み親子参加型事業 ～ちりめんモンスターをさがせ～

ちりめんの中にいる
多様な海洋生物を
発見、観察することで、
海の生物が
共存していることを学び、
海の環境問題についても
家族で考える機会づくりの提供
●時　期：7月29日（土）・30日（日）
●場　所：沖洲マリンターミナルビル2階 マリンホール

＊これらの事業については、実施時期が近づいて来ましたら、詳細な事業内容や参加者募集についてお知らせします。
（内容について一部変更する場合があります。）

「団体等との交流・連携事業」（交流スペース、活動室の貸出）

事業趣旨、内容

人権教育啓発に関する活動を行っている団体等に対し、センターが保有する啓発資料や啓発についてのノウハウを共有する等支援するとともに、団体間の交流を促進し、連携の輪を広げます。

このため、センターの持つ「交流スペース」「多目的活動室」を団体等の交流・連携の場として無償で貸出します。

団体等とは

県内の、NPO、市民団体、ボランティア団体、自主サークル等であって、真に人権が尊重された社会づくりを目的とした活動を行っている団体等。営利や政治、宗教上の活動を目的とした活動団体等は除く。

●利用の仕方：電話等で気安く利用の受け付けを行う
●時　　期：平成29年7月上旬から受付開始の予定
●場　　所：1階「交流スペース」にブースを設置して解放
　　2階「多目的活動室」を
　　会議、作業用に模様替えして解放

平成29年度 青少年読書感想文全国コンクール 課題図書（18冊）を貸出し用として入荷しています。

ご活用ください。